

まよなか よだ 真夜中に 呼び出される

ルカによる ふくいんしょ 福音書 11:5-10の さいわい 再話、いの 祈りについての きょうくん 教訓

夜の しず 静けさを うちやぶ 打ち破るように、ドアを おお ノックする おお 大きな な 音が な 鳴り響いた。
ジョサムは、さいしょ 最初は ゆめ 夢でも み 見ているのかと おも 思った。だが、きんじよ 近所の サイラス サイラスが
じぶん 自分を よ 呼ぶ こえ 声が き 聞こえて、ゆめ 夢では わ ないと わ 分かった。



「サイラスかい？」 ジョサムが
き 聞き返した。む（お向がいの サイラス サイラスが、
こんな まよなか 真夜中に、いつたい 一体 なん 何の ようじ 用事だと
いうのだろうか？） ジョサムは
ベッドの上で うえ 身を み 起こした。





外では、いてつくような寒さにふるえながら、サイラスが窓に顔をくっつけている。サイラスは大声で近所の人たちを起こしてしまわないよう、ささやき声で言った。「ジョサム、夜分おそくに申し訳ない。友人が長旅から、たった今着いたばかりなんだ。お腹をすかせているんだが、あいにく出す物が何もなくて。パンはないだろうか？」

ねている子供たちを起こさぬよう、ジョサムはあくびをしながら小声で言った。「分かったよ、サイラス。真夜中だけど、何とかしよう……。」

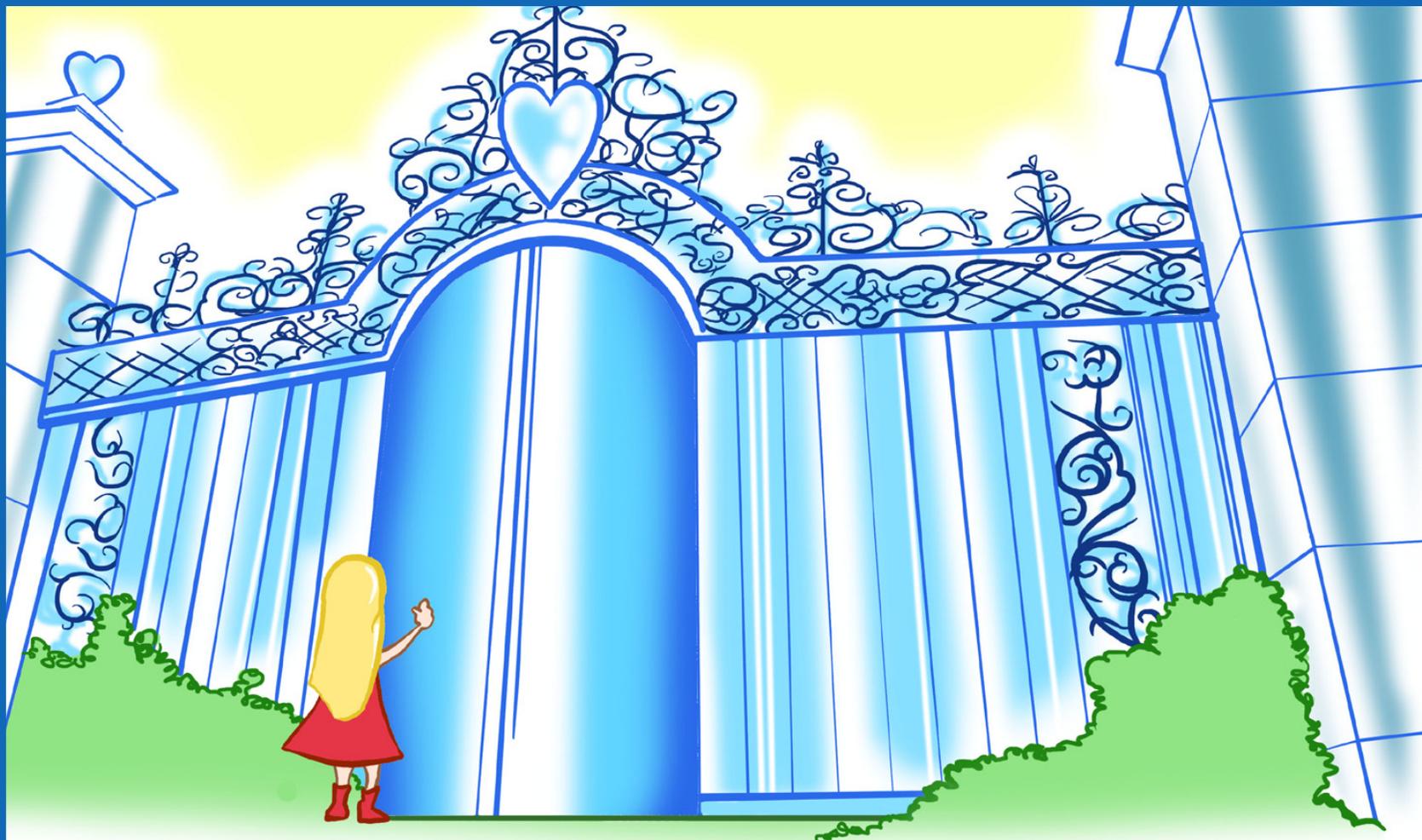
「本当に助かるよ、ジョサム！ よつぼどのことでもなけりゃ、君を起こすこともなかったんだが。」



イエス様は 弟子たちに、たとえ話をしておられたんだ。
家族と いっしょに ね静まっていた 人が、こんな 真夜中に
助けを 求めてきた 人を 助けてくれるなら、神様なら、
どれだけ 喜んで わたしたちの 祈りに 答えてくれるだろうか、
という たとえだね。



これは むずかしすぎる 願い事なんじゃ ないかなと 心配することは
ないよ。神様には、いそがしすぎて わたしたちの ことを 構って
いられない、なんて ことも ないからね。神様は、わたしたちの
愛情深い 天の お父さんだから、喜んで わたしたちの 祈りに
答えたいと 思っておられるんだ。



イエス^{さま}は、この
たとえ話を^{はなし} こんな^{ことば} 言葉で
しめくくっている。
「求めよ、そうすれば、
あた^{もと} 与えられるであろう。
さがせ、そうすれば
見^みいだすであろう。門を
たたけ、そうすれば、
あけてもらえるであろう。
すべて 求め^{もと}る 者^{もの}は 得^え、
さがす 者^{もの}は 見^みいだし、
門^{もん}を たたく 者^{もの}は あけて
もらえるからである。」
（口語訳聖書、
ルカによる^{ふくいんしょ} 福音書 11:9-10）

きみ きみ かぞく とも なに ねが
君や 君の 家族や 友だちには、何か お願いしたいことがあるかな？
だいたん いの ねが かみさま つた かみさま じしん さいぜん
大胆に 祈って、願いを 神様に 伝えてごらん。神様は、ご自身が 最善と
し 知っておられる 方法で 答えてくださるよ。



寄稿：クリスティ・S・リンチ、TFI出版物の編集 絵：エスター・マーティン
デザイン：ステファン・ミラー

出版：マイ・ワンダー・スタジオ Copyright © 2014年、ファミリーインターナショナル
"The Midnight Caller"--Japanese

関連の読み物はこちら ⇒ 子供のための聖書物語、たとえ話、祈り